

あなたの意識が進める！平塚市の男女共同参画



あなたの意識をチェックしながら、男女共同参画について考えてみましょう。

- 1 例えば、「男が泣くな！」「男はたくましく」「女の子なのだからおしとやかにしなさい」など「男は〇〇」「女は〇〇」というようなことを言ったことがある

ある / ない

解説1 男だからこうあるべき、女だからこうあるべき、といった意識（固定的な性別意識）について、チェックしました。

例にあるような一言で、生きづらくなる人や自分を否定してしまう人もいます。男だから、女だからって、本当にそうでなければいけないのでしょうか？

- 2 例えば、男性に対して「子どもが生まれたのか、もっと頑張って働かないと」とか、女性に対して「3歳までは子どものそばにいるべきだ」など、言ったことがある

ある / ない

解説2 性別によって役割を固定して考えていないか（固定的な性別役割分担意識）をチェックしました。この意識は、「男だから長く働いて稼ぐ『役割』を担うべきだ」、「女だから家事・育児などの家庭のことを引き受ける『役割』を担うべきだ」、といった考え方がこれにあたります。1の「固定的な性別意識」よりも、人々の生活に影響を与えており、男女共同参画がなかなか進まない一因となっています。

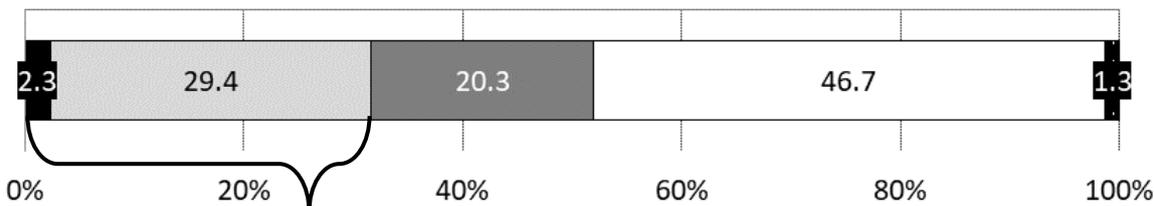
- 3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」あなたは賛成？反対？

賛成 / 反対

解説3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」は、性別役割分担意識についての問いです。「賛成・どちらかといえば賛成」は減少傾向にあり、性別役割分担意識が徐々に薄れてきています。

平塚市民意識調査（令和元年度調査）結果は・・・

■ 思う □ どちらかといえば思う ■ どちらかといえば思わない □ 思わない ■ 無回答



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の『賛成』と回答した人は31.7%で、4年前の調査結果（43.7%）と比べて12ポイント下がりました。

4 自治会長やPTA会長など、地域活動における会長は、男性が担うべきだと思う

思う / 思わない

5 市に意見をしたり、審議したりする機関である市の審議会（附属機関等）の委員に性別要件はないけれど、女性より男性が委員をした方が良いと思う

思う / 思わない

解説4、5

〇〇会長、役員、管理職、審議会の委員は、男性が担うべき、女性は補助的な仕事を担うものという性別役割分担意識についてチェックしました。

男女共同参画の目指す「性別に関係なく、個性と能力を發揮できる社会」には、こういった役割分担意識も一人一人が変えていき、個性と能力に合った役割を担い、協力していく必要があります。

6 男性も育休を取るべきだ

思う / 思わない



解説6 共働き世帯が増えている中、ワーキングママは、仕事・家事・育児の三重苦をしいられており、それを解決するカギは「男性の家庭進出」「職場の上司のイクボス」と言われています。

育児を担う（≠手伝う）ことで、男性は、子どもは自分の思うようなタイムスケジュールや段取りで動かないことを知り、子どもに合わせ、子どもに教えることを通して、子どもの成長とともに自分の成長にもつながり、仕事にも生きるスキルが磨かれるのです。

男性が家庭進出するためには、部下の仕事とキャリア、ワーク・ライフ・バランスを応援する「イクボス」も不可欠です。平塚市では「イクボス」を増やすための取組をしています。是非ホームページをチェックしてください！

男女共同参画とは



性別に関係なく、互いに人権を尊重し、個性と能力を發揮できる社会を、協力して作っていくこと！



「男」「女」で役割を分けるのではなく協力して社会を作ることが大切！

平塚市男女共同参画

